

ぬまっこ 号外

～ 笑顔 ～

令和7年1月8日
発行者
校長 三浦 了二

今日から2学期後半がスタートします！！

「あけましておめでとうございます」

天候にも恵まれ、穏やかな年末年始となりました。各ご家庭ではどのような冬休みを過ごしたでしょうか。

世間では、インフルエンザやコロナがまだまだ流行しています。油断なく、うがい・手洗いなどの対策をとって健康には十分留意していきましょう。

さて、2学期後半がスタートしましたが、1月は「行ってしまおう」2月は「逃げていく」3月は「去って行く」と言われているように、6年生は47日、5年生は49日、1～4年生は50日とあっという間の学校生活となります。時間においていられないように、毎日が充実した日になるよう、次の学年への準備も含め、しっかりと指導してまいります。以下、集会での校長の話の一部です。



6年生の学年 PTA 行事でお世話になった、早坂富望様よりいただいたお飾りです。

世界の健康を守る機関である、WHO（世界保健機関）のマークには蛇が描かれています。コロナ禍では頻繁に行われていたWHOの会見で知らないうちに目にしていたお友達も多いかもしれません。WHOのシンボルは、杖に巻き付いた蛇です。これはギリシア神話の医療の神、アスクレピオスが持っていた杖に由来しています。そのほか世界中の救急車にも蛇が描かれています。「毒や牙など危険なイメージがある蛇が、なぜ医療の象徴に？」と思う人も多いでしょうが、実は、アスクレピオスという人が医療の神様で、その人が持っていた杖に蛇が巻き付いていたから、医療関係のマークに蛇がついています。そしてもう一つ、蛇は脱皮を繰り返すことから、再生の象徴とされているのです。意外な一面ですね。

そもそもなぜ蛇は脱皮するのか、それは、体が成長すると皮にある固いうろこのため、成長するときに窮屈さを感じるからです。今の自分がより大きく成長するために、古い皮を脱ぎ捨てるのです。

皆さんの中にも、「自分は今のままでいいのか」とか、「こんな風になりたい」と思っている人も多いはず。少しでも心当たりがあるなら、それは皆さんが成長する兆しです。決まったことだけをする日々から抜け出して新しいことにも挑戦してみるのもよいですし、今までの勉強や生活の仕方を振り返り、新しい方法を取り入れてみるのもよいでしょう。新しい学年になるまで、あと3ヶ月。一回り大きくなって新しい学年を迎えられるように、友達と協力しながら学校生活を送っていきましょう。

2025年は巳年、蛇の年です。皆さん、ぜひ「自分の内面の脱皮」「成長」を目指してみてください。4月、一皮むけて、進学・進級した皆さんの姿が見られるように、この3ヶ月、気持ちもあらたに頑張りましょう。